

こくりにゆうだよ



大阪府立桜塚高等学校 1年 泉野 里緒
「春の訪れ」



今後のイベント情報 ※場所の記載がないものはとよなが国際交流センターで開催します。



メディアリテラシー入門講座 ※zoom開催

子どもとメディア

3月7日(日) 13:00~15:00

子どもが日頃触れているアニメなどのメディアについて考える。

対象: ウェブ会議システム(Zoom)でのやり取りが可能な人

定員: 20名(要申込・先着順)

参加費: 無料

講師: 田島智之さん(京都府立大学講師)

登丸あすかさん(文京学院大学助教)

申込: 3/6(土)までにメール・ウェブサイト(右記QRコード)にて受付。



おまつり地球一周クラブ

～ネパール編～

3月27日(土) 10:30~12:00

ネパール出身の講師と一緒にネパールに関する
工作やクイズなどを通して交流する。

対象: 小・中学生

定員: 10人(要申込・先着順)

参加費: 300円(材料費)

申込: 3月23日(火)までに電話・来館・メールにて
受付。

その他のイベントは見開きページにあるよ! →

1/10(日)
& 2/7(日)

とよなかシネコン 満員御礼!



豊中市内の公共施設・協力店舗とのコラボ企画『とよなかシネコン』を1月10日(日)～2月22日(日)に開催しました。当センターでは2016年度より『国流シネマカフェ』を開催していますが、今年度はコロナで様々なイベントが延期や中止になるなかで、映画を通して公共施設が取り組む課題や社会問題を考えるきっかけにってもらうために企画したものです。

それぞれの施設でおすすめの映画を選んで上映しましたが、当センターでは、昨年国流シネマカフェで上映した『ブラックパンサー』にひきつづき、黒人差別に対する抗議運動の「Black Lives Matter (BLM、黒人の命は大事だ)」に関連する映画『ブラッククランズマン』と『ゲットアウト』の2作品を上映しました。

当センターでの上映に限らず、複数施設での上映回にご参加いただいた方も非常に多く、2月7日(日)上

映の『ゲットアウト』については定員50名のところ100名以上の申込があり、アンケートでは87.8%の方に「今後もこのようなイベントに参加したい」という声を頂きました。

来年度も『とよなかシネコン』『国流シネマカフェ』など、映画上映企画を開催予定です。当センターでもコロナウイルスの感染防止対策をとったうえで、次回もたくさんの方にセンターに足を運んでもらえたらと思います。

(協会職員・三木幸美)



当センターで上映した作品チラシ

2/13(土) オンライン哲学カフェ ～会うってどんなこと?～

2月13日土曜日、哲学カフェをオンラインで開催しました。哲学カフェは、参加者同士の学び合いや、自由に討論していく対話の場として、年に3回～4回実施しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響受け開催できずにいましたが、2月によりやく一回目の実施となりました。また、感染症対策の観点からオンラインでの実施になりました。

今回のテーマは「会うってどんなこと?」です。

新型コロナの影響でこの一年“会う”ということがずいぶんと変容しました。今回の哲学カフェもそうですが、オンラインで“会う”ことも、一年前では想像できなかった方も多いのではないのでしょうか。



当たり前だったことを変えざるを得ない今だからこそ、“会う”ことはどんなことなのか、オンラインの画面上で私たちは“会って”いるのか…。参加者同士で考えや思いを言葉にし、“会う”ということはどういうことなのかという問いを深めてきました。

今後も哲学カフェはオンラインも含めて様々な形式での開催にチャレンジしていきますので、みなさんも次回ぜひご参加ください。

(協会職員・黒島トーマス友基)

2018年2月号に最終回を迎えた連載「なんじゃ・カンジャ・言わせてもらえば」の執筆者、皇甫康子さんのコラムです。皇甫さんの想いとメッセージがイモチョモ（あれこれ）詰まったコラムをどうぞ。

私が生まれた1957年前後には高度経済成長期の日本で、あってはならない公害病や食品中毒事件が起こっている。1955年の森永ヒ素ミルク事件。1956年には、水俣病患者の発生が初めて報告された。さらに、富山県神岡鉱山による水質汚染が原因の「イタイタイ病」、食用油にダイオキシン類が混入した「カネミ油症」事件や、四日市ぜんそくなどがある。自分も被害者だったかも知れないという思いは、学ぶたびに強くなる。

今年度は「食の安全といのち」というテーマで、水俣病について5年生の子どもたちと学習している。最初に水俣湾の美しい海や碑を映像で見せた。水俣病を聞いたことがあるという子がいて、説明してもらおうと、有機水銀で海が汚染され病気になったと聞いてくれた。被害者の手記を3回に分けて読み、分かったこと、思ったことを書き、伝えあい、毎回、意見交流をする。チッソ水俣工場は亡くなったり、体の異常を訴えたりするたくさんの方がいても、有機水銀をなぜ、ずっと垂れ流したのか。国はどうしてすぐに、病気の原因を認めなかったのか。「奇病」という報道で、伝染病扱いされ、差別をされる人の気持ち、差別をする人の気持ちも考えてみる。

最初は「怖い」「かわいそう」という感想が多かった。病気になった人はもっと怖かったのかな、赤ちゃんや子どもたちの症状が悪化するのをみて、家族はどんなに不安だったのかなと問い返すと、本気の顔になっていく。その後の感想には「苦しい生活の中で裁判を起こして、すごいと思った」「補償金をもらっても戻らないいのちがある」「水俣病にかかった人がせめられるのは、コロナの被害者への攻撃に似ている」など、学習への深まりが感じられた。

日本が貧しい時代に戦争が起こされた。敗戦後、再び貧しくなったが朝鮮戦争で経済復興の基を作った。人権より経済が優先され、取り返しのつかない大きな被害を受け、生き続けている人たちがいる。これまでの闘いが、私たちの生活を守ってくれていることに気がつく。

地名が病名になったことで、故郷を隠す悲劇があると語る当事者のお話も聴くことができた。子どもたちは、水俣病を学び、交流できて良かったと言ってくれる。一緒に考え、いろいろな思いを持つことができたようだ。伝えたいことはまだまだある。2月末に公開される、ジョニー・デップ主演の映画「MINAMATA」が楽しみだ。



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



日本語ボランティア養成講座 ※zoom開催

- 第1回 3月11日(木) 10:30~12:30
- 第2回 3月18日(木) 10:30~12:30
- 第3回 3月25日(木) 10:30~12:30
- 第4回 4月1日(木) 10:30~12:30

外国人の現状を知り、ボランティア活動における大切な視点を学ぶ。

※今年度の養成講座は、全講座zoomでの開催となります。

対象: ①全回参加可能で、講座終了後当センターのボランティアとして活動できる人

(活動曜日は月曜午前、木曜午後、金曜午前、日曜午前のいずれか)

および②ウェブ会議システム(Zoom)でのやり取りが可能な人

※対面での活動が基本でしたが、現在はオンラインと対面を併用しています。

対象: 各活動曜日5名程度、全体で20名(要申込・先着順)

参加費: 無料

申込: 3月2日(火)9時から来館・メール・ウェブサイト・右記QRコードにて受付。



コミュニティ通訳者 スキルアップ研修

3月19(金)

13:30~15:30

コミュニティ通訳についての講義と
実技を学ぶ(英語、中国語、ネパール語、
韓国・朝鮮語、スペイン語、フィリピン語、
タイ語、インドネシア語、ベトナム語)。

定員: 15人(要申込・先着順)

参加費: 無料

申込: 電話・来館・メールにて受付。

2021 3月 の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
01 もっど 相談	02 おやこ 相談 こんばす	03 休館日	04 千里 木ひる にこにこ 相談	05 金あさ にこにこ 相談 こんばす	06 相談 ATOMS振り返り会 10:00~12:00	07 貸室利用抽選会 目的利用：～6月末まで 一般利用：～5月末まで メディアリテラシー入門講座 13:00~15:00
08 もっど 相談	09 おやこ 相談 こんばす	10 休館日	11 千里 木ひる にこにこ 相談 日本語V養成講座 10:00~12:00	12 金あさ にこにこ 相談 こんばす	13 相談	14 がちゃ 母語 サンプル 若者
15 もっど 相談	16 おやこ 相談 こんばす	17 休館日	18 千里 木ひる にこにこ 相談 日本語V養成講座 10:00~12:00	19 金あさ にこにこ 相談 こんばす コミュニティ通訳者研修会 13:30~15:30	20 春分の日 つとい	21 がちゃ サンプル 若者
22 もっど 相談	23 おやこ 相談 こんばす	24 休館日	25 千里 木ひる にこにこ 相談 日本語V養成講座 10:00~12:00	26 金あさ にこにこ 相談 こんばす	27 相談 おまつり地球一周クラブ 10:30~12:00	28 がちゃ 母語 サンプル 若者
29 もっど 相談	30 おやこ 相談 こんばす	31 休館日	01	02	03	04

※場所の記載のないものはとよなか国際交流センターで実施しています。定例事業の参加についてはとよなか国際交流協会にお問い合わせください。

※赤字表記のセンターで開催しているにほんご交流活動およびおやこでにほんごについては、現在新型コロナウイルスの影響により活動内容を大幅に変更しています。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日	もっどもっどつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンラインにほんご	13:30~15:20 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日	韓国・朝鮮のこぼとあそびのつとい ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 南部にほんご(庄内公民館で実施)	9:30~11:30 13:00~16:00 13:00~15:00
日曜日	にちようがちゃがちゃだん こども母語※第24日曜日のみ 学習支援サンプルイス 若者のたまりば	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 17:00~20:00

今月のピックアップ

ATOMSふりかえり会を開催します

とよなか国際交流協会(指定管理者)は、年に一度、約30の協会事業にかかわるボランティア有志、スタッフが会して、市民参加型の事業評価会(ATOMSふりかえり会)を毎年開催しています。

これまでは対面で交流会もかねて実施しておりましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、3月6日(土)10時~12時にZOOMで開催します。それぞれの事業の1年間の活動を振り返り、当協会の現状や次年度の方向性を確認し、協会事業を全体共有する貴重な場です。

ボランティア以外の方でも、関心がある市民の方とはなたでもオブザーバーとしてご参加いただけますので、下記のメールアドレスよりお申込みください。(定員100人、要事前申込)

申込メールアドレス: atoms@a.zaq.jp

とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゆうだより」第143号(2021年3月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00~21:30(貸室受付は20:00まで、水曜休館)

TEL: 06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail: atom_s@a.zaq.jp WEB: http://www.a-atom_s.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

